

# カンキツ「璃の香」の露地栽培の特性

日向夏とリスボンレモンを交配して出来た酸味のマイルドな大果系レモン

## 背景・目的

- 健康ブームや安全性の点から、国産レモンの需要が高まっています。
- レモンは、県内の獣害被害が軽減できるカンキツとして注目しています。
- 「璃の香」は(独)農研機構果樹研究所が日向夏にリスボンレモンを交配して育成したカンキツです。
- 本県での「璃の香」の特性を調査することで、普及性を確認しました。

## 成果の内容

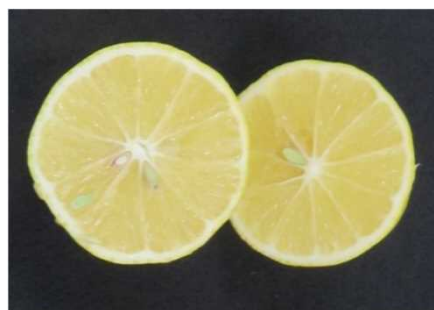
- 果実は200～320gと大きく、皮が薄く、果汁歩合も60%前後と果汁が豊富です。
- 種子は1～6個程度と少なく、糖度は7.5%前後、クエン酸は4%前後でマイルドな酸味です。
- レモンで問題となるかいよう病の発生が、果実や枝でも少ない品種です。

(表)：「璃の香」の果実品質

年度	品種	調査日	果実重 (g)	果皮厚 (mm)	果肉重 (g)	果汁重 (g)	果汁歩合 (%)	種子数		糖度 Brix	クエン酸 含量(%)
								完全	しいな		
2014	璃の香	11月19日	199	3.4	152	91	60	1.3	0.7	7.7	4.43
	璃の香	12月18日	239	4.1	189	107	57	1.5	0.6	7.7	4.16
2015	璃の香	11月20日	265	4.1	194	109	56	5.8	1.8	7.7	4.11
	璃の香	12月21日	323	4.0	216	124	58	4.3	2.5	7.4	4.15
	リスボン	12月21日	219	9.2	99	43	43	16.0	4.6	7.5	6.77
2016	璃の香	11月20日	285	4.0	220	134	60	3.0	1.7	7.4	3.88
	璃の香	12月19日	327	4.3	251	172	69	4.4	2.8	7.3	3.98
	リスボン	12月19日	200	8.4	99	49	50	22.7	3.1	7.6	6.00



(写真1)：「璃の香」果実



(写真2)：果実の断面

## 成果の活用方法(又は期待される効果)

- 果汁が豊富なので、ジュースや製菓などの加工向けとして新たな需要が期待されます。
- かいよう病の発生が少ないので、出荷率が高まり、所得の向上が図れます。

■ 普及対象地域・面積 温暖なカンキツ栽培地域(南那珂、県央沿海部) 863.5ha(レモン栽培面積+南那珂・中部カンキツ類栽培面積)

## 留意点

- 寒害に遭う園地での植え付けは避けます。
- かいよう病の発生は少ないですが、防止のために台風前後に銅水和剤散布を行うのが望ましいです。

関連普及技術カード：平成29年後期 番号25

関連事業名：次代を担うオリジナルかんきつの育成と省力・安定生産技術の開発事業(県単)

研究期間：平成24年～28年